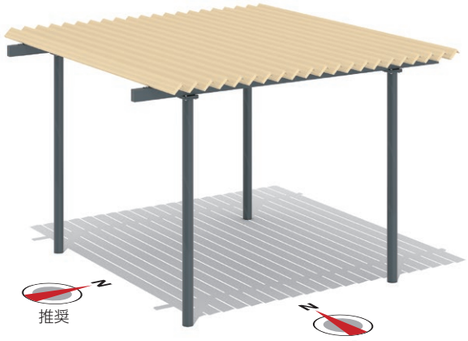
暑熱対策
日除けルーバー

シェードルーバーパーゴラ（遮熱タイプ）

遮熱塗装のルーバーがパーゴラ下部空間をより涼しくする、遮熱仕様のシェードルーバーパーゴラです。

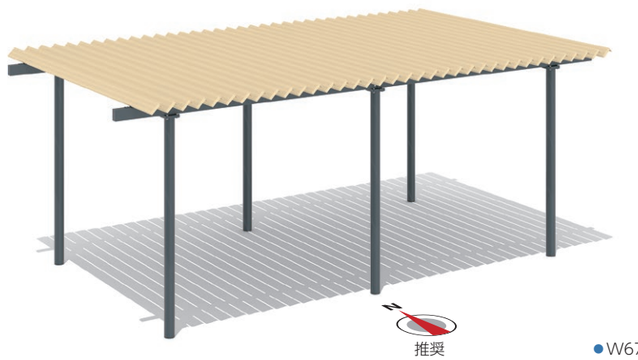

喜連西中央公園　発注：大阪市（大阪府）

DSF-12AA ¥2,400,000＋消費税



- W4000×D4000×H2530（桁高）
- 475kg

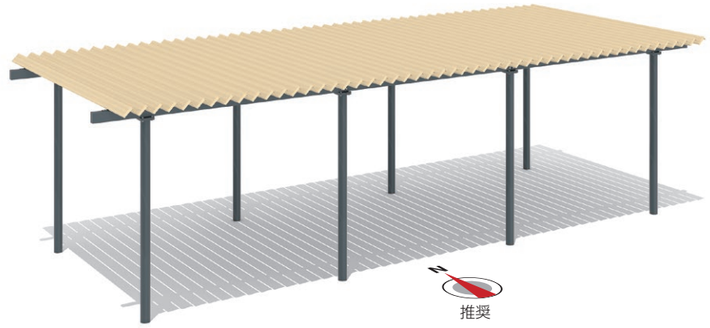
DSF-22AA ¥3,500,000＋消費税



- W6700×D4000×H2530（桁高）
- 775kg

●掲載価格は全て本体価格+消費税です。製品に関わる運賃・組立費・据付費・基礎工事費等は別途となります。

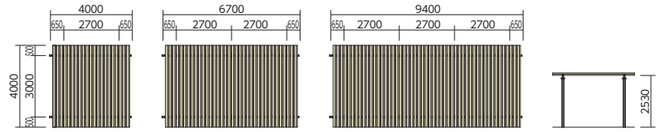
DSF-32AA ¥4,600,000＋消費税

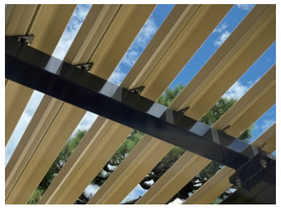


- W9400×D4000×H2530（桁高）
- 1075kg

DSF-12AA/22AA/32AA 共通仕様

ルーバー▶アルミ押出形材／アルマイト処理、合成樹脂焼付遮熱塗装仕上
桁・柱▶鋼材／溶融亜鉛メッキ下地、合成樹脂塗装又はポリ粉体塗装仕上
積雪対応▶0.8m以下
※多雪区域については弊社営業担当にお問い合わせください。
※設計風圧力は基準風速34m/s、粗度区分Ⅲを基に算出しています。





遮熱塗装ルーバーにより下部空間の体感温度を下げ、熱中症リスクを軽減する効果が見込めるシェードルーバーパーゴラです。同じ日陰でもより涼しく感じる「**日陰の質**」とルーバー間の隙間を狭くして日陰率を増やした「**日陰の量**」を両立し、熱中症の危険性をより効果的に抑えます。

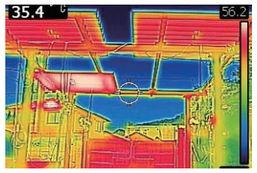


日陰の質と量の両立により、当社標準のシェードルーバーパーゴラと比較して体感温度相当で2℃近く下がり、WBGT（熱中症指数）の危険率も効果的に低減することが確認できました。（➡p.19）

遮熱塗装ルーバーによる熱中症軽減効果の検証

遮熱塗料を塗布した新シェードルーバーによる暑熱対策効果の検証を、群馬大学大学院理工学府・天谷研究室協力のもと、2022年の夏期に行いました。その結果、ルーバーを茶色の一般塗装から薄色の遮熱塗装とし、ルーバーピッチを180mmとして日陰率を増加させることで、体感温度やWBGT（熱中症指数）の危険割合を今までよりさらに低減できることが確認できました。（➡p.19）





南中時における日陰の比較



※1連（DSF-12AA）は正面を南向き、または東向きに設置すると効果的に日陰ができます。また、日中の日陰の移動による下部空間への日陰全体のかかり具合は、南向き設置、東向き設置ともほぼ同じです。
※連棟（DSF-22AA／32AA）は正面を南向きにして本体が東西方向に長くなるように設置することで、下部空間への日陰全体のかかり具合を長く維持できます。
＊1：図中の日陰率は正面を南向きに設置した際の値です。また、日陰率は時間により変動します。

●掲載価格は全て本体価格+消費税です。製品に関わる運賃・組立費・据付費・基礎工事費等は別途となります。